

官報號外

昭和十七年二月十四日

○帝國議會衆議院議事速記錄第十四號

昭和十七年一月十三日(金曜日)

午後二時二十分開議

議事日程 第十三號

昭和十七年二月十三日

午後一時開議

建議案

第一 治水利水政策ノ確立ニ關スル建

議案(依孫一君外八名提出)(第一號)

(委員長報告)

第二 地方行政振興ニ關スル建議案(宮

本雄一郎君外六名提出)(第四號)

(委員長報告)

第三 横山神社昇格ニ關スル建議案(熊

谷五右衛門君提出)(第七號)

(委員長報告)

第四 崇神天皇ヲ奉祀スル神宮御創建

ニ關スル建議案(田中万逸君外二名

提出)(第一〇號)

(委員長報告)

第五 東郷神社ヲ別格官幣社ニ昇格ニ

關スル建議案(守屋榮夫君外六名提

出)(第一二號)

(委員長報告)

第六 乃木神社ヲ別格官幣社ニ昇格ニ

關スル建議案(守屋榮夫君外六名提

出)(第一三號)

(委員長報告)

第七 渡良瀬川流域砂防工事施行ニ關
スル建議案(森下國雄君外十二名提
出)(第一四號)

(委員長報告)

第八 敬神ノ眞義宣揚ニ關スル建議案
(曾和義式君提出)(第一七號)

(委員長報告)

第九 官幣大社宗像神社社殿境域復興
ニ關スル建議案(原口初太郎君提出
(第一九號)

(委員長報告)

第十 吉野川河水統制利用ニ關スル建
議案(前川正一君提出)(第一四號)

(委員長報告)

第十一 戰時壯丁鍛成局設置ニ關スル
建議案(藤生安太郎君外十一名提出
(第八號)

(委員長報告)

第十二 治療師法制定ニ關スル建議案
(守屋榮夫君外三名提出)(第一一號)

(委員長報告)

第十三 水道營團設立ニ關スル建議案
(小笠原三九郎君外二名提出)(第一
五號)

(委員長報告)

第十四 腹本位體育實施ニ關スル建議
案(山本厚三君外二名提出)(第一六
號)

(委員長報告)

第十五 師範大學創設ニ關スル建議案
(永井柳太郎君外二十九名提出)(第
一三號)

(委員長報告)

第十六 畜產局設置ニ關スル建議案(野
溝勝君外五名提出)(第二號)

(委員長報告)

第十七 種畜國策樹立ニ關スル建議案
(立川平君外三名提出)(第六號)

(委員長報告)

第十八 農業保險制度改正ニ關スル建
議案(助川啓四郎君外二十六名提出
(第九號)

(委員長報告)

第十九 鑄業法改正ニ關スル建議案
(川俣清音君外三名提出)(第二〇號)

(委員長報告)

第二十 海外引揚同胞援護ニ關スル建
議案(田原春次君提出)(第一三二號)

(委員長報告)

第二十一 神宮皇學館大學ヲ綜合大學
トシテ擴張變更ニ關スル建議案(濱
地文平君外四名提出)(第五號)

(委員長報告)

第二十二 大東亞留日學生會館建設ニ
關スル建議案(田原春次君提出)(第
二一號)

(委員長報告)

第二十三 退職國民學校教員ノ職域再
建議案(石坂繁君外二
名提出)(第二五號)

(委員長報告)

第二十四 民衆體育施設ニ關スル建議
案(國民體力法中改正法律案
提出)(第一九號)

(委員長報告)

第二十五 日本農業經營機械化促進ニ
關スル建議案(森田重次郎君外四名
提出)(第二六號)

(委員長報告)

第二十六 優秀發明ノ國家的促進ニ關
スル建議案(依孫一君外七名提出
(第二七號)

(委員長報告)

ゾ簡單ニ不動産登記法中改正法律案ノ内容ヲ説明シ、ソレヨリ他ノ戦時立法法案ニ移ルコトニ致シマス、昭和十五年七月家屋税法ガ施行セラレ、本年一月一日全國稅務署ニ徵稅ノ土臺ニナリマス家屋臺帳ガ備ヘ附ケラレルコトニナリマシタ、改正ノ目的ハ徵稅ノ迅速的確ヲ期スル爲メト、又從來動トモスレバ制度ノ不備ニ乘ジ、二重登記ヲナシ、不正行爲ヲ働く者アルヲ防止スル爲ノ法律デアルノデアリマス。

是カラ戦時立法ニ移リマス、先づ戦時立法全體ニ共通ノ點ヲ述ベマス、委員ノ一人カラ、何時カラ何時マデ戦時ナリヤトノ質質ガアリマシタ、之ニ對シ政府ハ、宣戰ノ詔勅ヨリ講和條約締結マデノ期間ヲ言ウテ答辯致シマシテ、戦争終了ノ際ニ於テ、必要ナル經過規定ハ、勅令ヲ以テ定ムルトノコトデアリマシタ、又戦時立法ハ自然ニ消滅スルモノデナクシテ、廢止ノ法律案ヲ以テ初メテ消滅スルト云フコトデアリマシタ、又戦時立法ノ性質ニ對スル質問ガアリマシタ、政府ハ之ニ對シ、戦時シ燈火管制中、又ハ人心ニ動搖ヲ生ゼシムベキ狀態ニアル場合、公安ヲ害スル犯罪ノ豫防及ビ鎮壓ヲナスハ、最モ緊要ニシテ、平素泰平ノ時ヨリ加重シ、嚴戒以テ事件ノ迅速ヲ圖ル爲メ、戦時立法ヲ設ケタモノナリト説明致シマシタ、仍テ是ヨリ戦時立法タル戦時ニケル領事官ノ裁判ノ特例ニ關スル法律案、裁判所構成法戦時特別案ノ提案ノ點ニ付テ申

上ガマス
先づ政府ヨリ各法案ノ詳細ナル説明ガアツテ後質問ニ入リマシタ、其ノ主ナルモノツテ紹介致シマスト、先づ司法全般ニ瓦ル問題トシテハ、從來ノ我が司法制度ハ、歐米ノ制度ニ倣ツタ點ガ多イガ、今後ノ事態ニ對應スルガ爲ニハ、之ヲ日本のナルモノニ改メル必要ガアル、現ニ民法、商法等ノ如キ私法ノ規定ハ、個人ノ權利義務ヲ中心トシテ出來テ居ルノデアツテ、今日ノ實情ニ副ハヌ所ガ生ジタノデアル、私法ノ改善ハ必須ノコトト考ヘルガ、政府ノ所見ハ如何トノ質問ニ對シテ、政府ハ斯カル方向ニ向ツテ種々改善ヲ企圖シテ居ルノデ、十分調査ノ上調査機關ヲ設ケ、サウシテ此ノ改善トノ質問ニ對シテ、政府ハ斯カル方向ニ向

タズ、事實審理ヲ一審ニ止ムルハ、決シテ國民ノ權利ヲ尊重シ、安心セシムル所必須ノコトト考ヘルガ、政府ノ所見ハ如何トノ質問ニ對シ、政府ハ區裁判所ニハ殊ニ練達以ノモノデハナイデハナイカト云フ質問ニ對シ、政府ハ區裁判所ニハ殊ニ練達堪能ノ人ヲ用ヒ、地方裁判所ニハ裁判所構成法ノ活用ヲ圖リ、遺憾ナキヲ期スルトノ次ニ戦時下ニ於ケル司法ノ機能ヲ高メル為ニ、司法部ノ職員待遇ヲ改善スル必要ナキカ、特ニ書記、廷丁ノ待遇ニ對シ年々議會ヨリモ催促サレアルモ、是ハ是非實行シテ貴ヒタイトノ質問ニ對シ、政府ハ至極同感デアル、將來必ず實行スルトノ答辯ガアリマシタ、尙ホ司法部ノ人員不足ヲ補フ爲ニ所謂國政變亂ト、刑法ノ朝憲系亂トノ差異ハ何處ニアルノカト云フ質問ニ對シ、政府ハ、國政トハ國家ノ基本的政治ヲ意味スルモノデアツテ、政治ノ動的ナ面、即チ基本的政策ヲ含ミ、朝憲ヨリハ廣義ノモノデアルトノ説明ガアリマシタ、第十五條ニシマシテ、政府ハ部内ノ人事ノ沈滯ヲ防ダ上カラ、制度トシテハ定年制ヲ存置スルコト云フ間ニ對シテ政府ハ、是ハ一般國民ノ日常生活維持ノ上ニ缺クベカラザル物資ヲ所謂生活必需品トハ如何ナルモノデアルカト云フ間ニ對シテ政府ハ、是ハ一般國民ノ日常生糞品、被服料品、醫藥品ノ如キモノ言フノデ、之ヲ例示致シマスト米、麥、雜穀、味噌、醬油、砂糖、鹽、野菜、魚類ノト例示的ニ説明ヲ致シマシタ、又辯護士ノトノ質問ニ對シテハ、從來ノ經驗ニ徴シ戰時下ニ於ケル犯罪ノ防止ヲ期スルニハ、精神ノ涵養ニ付テ意ヲ用ヒテ居ル所デアル

ガ、今後益々文教當局トモ連繫ヲ保ツテ、經濟的道義心ノ昂揚ニ努メ、斯カル犯罪ヲ未然ニ防止スルコトニ努力ヲ致スト答ヘマシタ、次ニ裁判所構成法戰時特別案ニ付テ、控訴審ヲ廢止スルコトハ、現在ノ裁判成績ニ照シ當ヲ失シ、國民ヲシテ不安ヲ感ゼシムルデハナイカ、即チ第一審事實ヲ第二審ニ於テ變更セラルコト實際多キニ拘ラズ、事實審理ヲ一審ニ止ムルハ、決シテ國民ノ權利ヲ尊重シ、安心セシムル所必須ノコトト考ヘルガ、政府ノ所見ハ如何トノ質問ニ對シテ、政府ハ斯カル方向ニ向シテ種々改善ヲ企圖シテ居ルノデ、十分調査ノ上調査機關ヲ設ケ、サウシテ此ノ改善トノ質問ニ對シテ、政府ハ斯カル方向ニ向

タズ、事實審理ヲ一審ニ止ムルハ、決シテ國民ノ權利ヲ尊重シ、安心セシムル所必須ノコトト考ヘルガ、政府ノ所見ハ如何トノ質問ニ對シ、政府ハ區裁判所ニハ殊ニ練達堪能ノ人ヲ用ヒ、地方裁判所ニハ裁判所構成法ノ活用ヲ圖リ、遺憾ナキヲ期スルトノ次ニ戦時下ニ於ケル司法ノ機能ヲ高メル為ニ、司法部ノ職員待遇ヲ改善スル必要ナキカ、特ニ書記、廷丁ノ待遇ニ對シ年々議會ヨリモ催促サレアルモ、是ハ是非實行シテ貴ヒタイトノ質問ニ對シ、政府ハ至極同感デアル、將來必ず實行スルトノ答辯ガアリマシタ、尙ホ司法部ノ人員不足ヲ補フ爲ニ所謂國政變亂ト、刑法ノ朝憲系亂トノ差異ハ何處ニアルノカト云フ質問ニ對シ、政府ハ、國政トハ國家ノ基本的政治ヲ意味スルモノデアツテ、政治ノ動的ナ面、即チ基本的政策ヲ含ミ、朝憲ヨリハ廣義ノモノデアルトノ説明ガアリマシタ、第十五條ニシマシテ、政府ハ部内ノ人事ノ沈滯ヲ防ダ上カラ、制度トシテハ定年制ヲ存置スルコト云フ間ニ對シテ政府ハ、是ハ一般國民ノ日常生活維持ノ上ニ缺クベカラザル物資ヲ所謂生活必需品トハ如何ナルモノデアルカト云フ間ニ對シテ政府ハ、是ハ一般國民ノ日常生糞品、被服料品、醫藥品ノ如キモノ言フノデ、之ヲ例示致シマスト米、麥、雜穀、味噌、醬油、砂糖、鹽、野菜、魚類ノト例示的ニ説明ヲ致シマシタ、又辯護士ノトノ質問ニ對シテハ、從來ノ經驗ニ徴シ戰時下ニ於ケル犯罪ノ防止ヲ期スルニハ、精神ノ涵養ニ付テ意ヲ用ヒテ居ル所デアル

戰時ニ於ケル領事官ノ裁判ノ特例ニ關スル法律案ハ、從來ノ領事官ノ職權範圍ヲ擴張シタモノデ、尙ホ豫審ヲ經ザル死刑、又ハ無期若シクハ短期一年以上ノ懲役又ハ禁銅ニ該ル罪ニ付キ公判ヲナシ得ルヤウニナシタノデ、其ノ理由ハ日支事變以來支那ニ渡航移住スル者ガ增加致シマシテ、事件モ段々殖エテ參リマシタノデ、一々輕微ノ事犯マデ内地ニ送リ、内地裁判所ニ於テ公判ヲ開クニ於テハ、船舶交通ノ不便ト、事件滞滯ノ不都合ヲ重ヌル故、茲ニ改正ヲ致シタトノ政府ノ答辯デアリマシタ
戰時民事特別法案ニ關スル主ナル質疑ヲ御紹介致シマス、同法案第九條ニ依レバ、證人、鑑定人ニハ宣誓ヲナサシメナイノデ、書面ヲ提出セシムルノデアルカラ、勢ヒ虛偽ノ證言ガ増加スルヤウニナル危險ガアルノデハナイカトノ質問ガ、最モ多カツタノデアリマス、之ニ對スル政府ノ答辯ハ、同條ニ所謂「裁判所相當ト認ムルトキハ」ト云フノハ可ナリ嚴格ナ意味デアツテ、證人又ハ鑑定人タルベキモノハ、十分ニ信用スルニ足ル人物デアリ、而モ戰時下繁劇ナル職務ニ從事シテ居リ、其ノ職場ヲ離レ裁判所ニ出頭スルコトガ非常ニ困難ナヤウナ場合ニ限リ、此ノ書面提出ニ依ル簡易ノ手續ヲ認メントスルノデアツテ、決シテ一般ノ場合ニ之ヲ擴張セントスル趣旨デナイト云フコトデアリマシタ、尙ホ偽證ヲ防止スル爲メ書面ニ依ル宣誓ヲ命ジテハドウデアルカトノ質問ニ對シマシテハ、宣誓ハ事柄ノ性

質上裁判官ノ面前ニ於テ、最モ嚴肅ニ行ハルベキモノデアツテ、法廷外ニ於テ書面ヲ以テ宣誓セシムルガ如キハ、其ノ當ヲ得タルモノデハナイノミナラズ、本條ノ趣旨ガ右ノ如ク十分ニ信用ノ出來ル證人、又ハ鑑定人ヲ對象トシテ居ル關係上、書面ニ依ル宣誓ノ手續ヲモ省略シタノデアルト云フコトデアリマシタ、尙ホ調停制度ノ擴張ニ關シ、從來ノ調停ニ於ケル弊害ヲ指摘スル意達ヲ圖ル爲メ、萬全ノ努力ヲ致シタノトノ答辯ガアリマシタ、之ニ對シテハ政府ヨリ、今後トモ益調停制度ノ健全ナル發見ノ開陳ガアリマシタガ、之ニ對シテハ政府ヨリ、今後トモ益調停制度ノ健全ナル發見ノ開陳ガアリマシタガ、之ニ對シテハ政

モ、體刑ヲ求刑スベキモノト認ムルモノ、其ノ他内容ニ鑑ミ相當ト認ムルモノハ、原則トシテ地方裁判所ニ起訴スルノ運用方針ヲ立テ、其ノ趣旨ヲ檢察當局ニ訓令スルノ外、適當ノ方法ヲ以テ部内ニ十分徹底セシムル所存デアリマスト、明確ニ答辯ヲ致シタヤウナ次第デアリマス

三、戰時特例法律ニ依リ簡易化セラレタノ法律ノ解釋ト適用ノ如何ニ依ソテハ、餘程注意ヲセナケレバナラヌコトデアル、仍テ念ノ爲メ更ニ一問一答、即チ具體的ニ質問致シマシタ、或ハ前ト稍重複スル點ガアルカモ知レマセヌガ、國民ニ對シ親切ニ最モ明瞭ニ知ラシムルノハ議會ノ任務ト存ジマシテ(拍手)茲ニ假令重複シテモ、其ノ當時ノ質問應答、即チ政府ノ答辯ヲ申上ゲマス

一、區裁判所判事、檢事共ニ適當ナルモノ配置スル旨ノ言明ハ、必ズ實行セラルカ、此ノ議員ノ質問ニ對シテ政府ハ、區裁判所ニ練達堪能ナル判事、檢事ヲ配置スルコトニ付テハ、本案御審議ノ席上ニ於テ屢々申述ベマシタ通り、司法當局ニ於テ最善ノ努力ヲ致シ、必ズ其ノ實現ヲ期スル積リ

二、本刑事手續ニ於テ、經濟事件ノ相當重大ナルモノハ、地方裁判所ニ起訴スルヤウ運用スル意思ナキカ、此ノ質問ニ對シテ、政府ハ斯ク答ヘマシタ、豫審ヲ必要トスル事件ニ付テハ勿論、然ラザル事件ニアリテモ、體刑ヲ求刑スベキモノト認ムルモノ、其ノ他内容ニ鑑ミ相當ト認ムルモノハ、原則トシテ地方裁判所ニ起訴スルノ運用方針ヲ立テ、其ノ趣旨ヲ檢察當局ニ訓令スルノ外、適當ノ方法ヲ以テ部内ニ十分徹底セシムル所存デアリマスト、明確ニ答辯ヲ致シタヤウナ次第デアリマス

五、(イ)區裁判所ニ於ケル刑事裁判ノ實情ヲ見ルニ、勾留訊問ニ引續キ、直チニ公判ヲ開ク場合ガ少クナシ、此ノ狀態ニテハ本法ニ依リテハ辯護人ヲ選任スル機會ガナキ、運用ニ付キ具體的方策ヲ示サレタノトノ質問ガアリマシタ、ソレカラロハ、司法警察官ノ搜查ニ於テ被疑者ヲ引致シタル後、家族其ノ他トノ交通ヲ遮断シタル儘検査ヲ繼續シ、檢事局ニ送致公判請求セテ不都合ヲ生ゼザルヤウ、本刑事手續運用ノ具體策ヲ示サレタイ、此ノ質問ニ對シテ、御趣旨ハ十分了承致シマシタ、司法當局ト致シマシテハ、御注意アルマデモナク訓令トナキヤウ訓令、又司法官會同等ニ於テ注意スル意恩ナキヤ、此ノ質問ニ對シテハ、御趣旨ハ十分了承致シマシタ、司法當局ト致シマシテハ、御注意アルマデモナク訓令モ致シ、又司法官會同等凡エル機會ヲ利用シテ、趣旨ノ徹底ヲ圖ル所存デアリマス、勿論十分ニ厲行スル覺悟デアルコトヲ明白ニ申述ベテ置キマストドノ答辯ガアリマシタ

四、區裁判所ヲ第一審トスル上告事件ニ付テハ、特ニ事實認定ニ誤審ナキヤ否ナキ、眞實發見、誤審絶滅ノ爲メ親切丁寧ニ且ツ辯解、舉證方法等ニ付キ、特段大注意ヲ以テ善處スルヤウ、訓令又ハ司法官會同等ニ於テ注意スル意思アリヤトノ

六、區裁判所ニ於ケル審理、特ニ刑事事件ニ付キ、眞實發見、誤審絶滅ノ爲メ親切丁寧ニ且ツ辯解、舉證方法等ニ付キ、特段大注意ヲ以テ善處スルヤウ、訓令又ハ司法官會同等ニ於テ注意スル意思アリヤトノ

○議長(田子一民君) 御異議ナシト認メ

質問ニ對シ、本案ハ上告審ニ於ケル事實ノ認定及ビ刑ノ量定ニ付テハ、之ニ關スル刑罰ノ量定ガ適正妥當ナリヤ否ヤニ付キ、從

此ノ質問ニ對シテ、御趣旨ハ全ク御同感デアリマシテ、訓令モ致シマセウシ、又司法官會同等凡ユル機會ヲ利朋シテ、其ノ徹底ヲ圖ル覺悟デアリマストノ答辯デアリマシタ

七、略式命令ニ對スル正式裁判ノ申立ヲ妨げ、又ハ申立アリタル場合、是ガ取下ゲテアリマストノ答辯ガアツタノデアリマス

下ニ立案シタモノデアリマシテ、右立案ノ事訴訟法ノ規定ヲ十分ニ活用スルノ趣旨ノ趣旨ハ司法官會同、其ノ他適當ノ機會ニ十

分ニ之ヲ説明シ、萬遺漏ナキヲ期スル積リテアリマストノ答辯ガアツタノデアリマス

五、(イ)區裁判所ニ於ケル刑事裁判ノ實情ヲ見ルニ、勾留訊問ニ引續キ、直チニ公判ヲ開ク場合ガ少クナシ、此ノ狀態ニテハ本法ニ依リテハ辯護人ヲ選任スル機會ガナ

キ、運用ニ付キ具體的方策ヲ示サレタノトノ質問ガアリマシタ、ソレカラロハ、司法警察官ノ搜查ニ於テ被疑者ヲ引致シタル後、家族其ノ他トノ交通ヲ遮断シタル儘検査ヲ繼續シ、檢事局ニ送致公判請求セテ不都合ヲ生ゼザルヤウ、本刑事手續運用ノ具體策ヲ示サレタイ、此ノ質問ニ對シテ、御趣旨ハ確カニ諒承致シマシタ、本法ノ運用ト致シマシテハ、御注意アルマデモナク訓令モ致シ、又司法官會同等凡エル機會ヲ利用シテ、趣旨ノ徹底ヲ圖ル所存デアリマス、勿論十分ニ厲行スル覺悟デアルコトヲ明白ニ申述ベテ置キマストドノ答辯ガアリマシタ

六、區裁判所ニ於ケル審理、特ニ刑事事件ニ付キ、眞實發見、誤審絶滅ノ爲メ親切丁寧ニ且ツ辯解、舉證方法等ニ付キ、特段大注意ヲ以テ善處スルヤウ、訓令又ハ司

官會同等ニ於テ注意スル意思アリヤトノ

○議長(田子一民君) 御異議ナシト認メ

ス、仍テ五案ノ第一讀會ヲ開クニ決シマシ
タ

○依光好秋君 直チニ五案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス
○議長(田子一民君) 依光君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(田子一民君) 御異議ナント認メマス、仍テ直チニ五案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

不動産登記法中改正法律案

第一讀會(確定議)

戰時ニ於ケル領事官ノ裁判ノ特例ニ關スル法律案 第二讀會(確定議)

戰時民事特別法案 第二讀會(確定議)

裁判所構成法戰時特例案 第二讀會(確定議)

第一讀會(確定議)

○議長(田子一民君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、五案トモ委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)建議

日程第一乃至第二十七ノ二十七件ヲ括シテ議題ト致シマス、建議委員長ノ報告ヲ求メマス——建議委員長内藤正剛君

建議案

第一 治水利水政策ノ確立ニ關スル建議案(委員長報告)

議案(候孫一君外八名提出)(第一號)

(委員長報告)

官報號外 暁和十七年二月十四日 衆議院議事速記録第十四號 不動產登記法中改正法建議案外四件 第二讀會(確定議)

第一 地方行政振興ニ關スル建議案

(宮本雄一郎君外六名提出)(第四號)

(委員長報告)

(守屋榮夫君外二名提出)(第一一號)

(委員長報告)

關スル建議案(田原春次君提出)(第一二號)

(委員長報告)

二一號

(委員長報告)

第三 橫山神社昇格ニ關スル建議案(熊谷五右衛門君提出)(第七號)

(委員長報告)

第五號

(委員長報告)

第十三 水道營團設立ニ關スル建議案(小笠原三九郎君外二名提出)(第一六號)

(委員長報告)

第十四 腹本位體育實施ニ關スル建議案(山本厚三郎君外二名提出)(第一六號)

(委員長報告)

第十五 師範大學創設ニ關スル建議案(永井柳太郎君外二十九名提出)(第一三號)

(委員長報告)

第十六 畜產局設置ニ關スル建議案(野溝勝君外五名提出)(第二二號)

(委員長報告)

第十七 種苗國策樹立ニ關スル建議案(立川平君外三名提出)(第六號)

(委員長報告)

第十八 農業保險制度改正ニ關スル建議案(助川啓四郎君外二十六名提出)

(委員長報告)

第十九 鑛業法改正ニ關スル建議案(川俣清音君外三名提出)(第一〇號)

(委員長報告)

第二十 海外引揚同胞援護ニ關スル建議案(田原春次君提出)(第一二二號)

(委員長報告)

第二十一 神宮皇學館大學ヲ綜合大學トシテ擴張變更ニ關スル建議案(濱地文平君外四名提出)(第五號)

(委員長報告)

第二十二 大東亞留日學生會館建設ニ關スル建議案(藤生安太郎君外十一名提出)(第八號)

(委員長報告)

第二十三 退職國民學校教員ノ職域再奉公ニ關スル建議案(石坂繁君外二名提出)(第二五號)

(委員長報告)

第二十四 私立學校教職員優遇ニ關スル建議案(古田喜三太君外二名提出)(第二九號)

(委員長報告)

第二十五 日本農業經營機械化促進ニ關スル建議案(森田重次郎君外四名提出)(第二六號)

(委員長報告)

第二十六 優秀發明ノ國家的促進ニ關スル建議案(孫孫一君外七名提出)(第二七號)

(委員長報告)

第二十七 高岳親王ノ尊靈ヲ「シンガボール」ニ奉祀ニ關スル建議案(小池四郎君提出)(第二八號)

(委員長報告)

第二十八 治水利水政策ノ確立ニ關スル建議案(治水利水政策ノ確立ニ關スル建議案)

(委員長報告)

天災ヲ未然ニ防止シテ農地ヲ安定セシメ增産ヲ確保スル最重要ノ根幹ハ治水利水事業ノ完璧ヲ期スルニ在リ、然ルニ輓近水害ノ頻出増大セルハ戰時下寔ニ遺憾トスルトコロニシテ之ガ禍根ハ水系全般ニ

(委員長報告)

ス仍テ政府ハ水源ヨリ河口ニ至ル一貫セル全面的治水利水計畫ノ缺如ニ存シ就中水害

(委員長報告)

ス、仍テ政府ハ水源ヨリ河口ニ至ル一貫セル全面的治水利水計畫ニ砂防計畫ヲ樹立

シ之ガ急施ヲ圖リ更ニ治水利水事業ノ效用ヲ發揮セシムルガ爲ニ水力發電、河川改修、河水統制、用排水幹線、開墾、砂防、荒廢林地復舊等治水利水ニ關スル行政ヲ綜合統一シテ時局ニ即應シタル行政機構ヲ創設セラレムコトヲ望ム

右建議ス

地方行政振興ニ關スル建議案

地方政府振興ニ關スル建議

政府ハ市制第百六條、町村制第八十六條ニ依ル有給吏員ニ對スル退隱料及退職死亡給與金條例（其ノ他有給吏員ニ對スル條例）ノ制定普及ヲ徹底セシメ併セテ市、町村ニ於テ支給ヲ爲ス場合ハ之ニ對シ國庫ヨリ其ノ二分ノ一ヲ支出シ以テ地方行政ノ振興ヲ圖ラレムコトヲ望ム

右建議ス

横山神社昇格ニ關スル建議案

政府ハ萬世一系連綿タル皇統將ニ絶ヘナムトスル秋北陸ノ一隅ヨリ出御マシマシテ弊政ヲ更革シ給ヘル英主第二十六代繼體天皇ヲ祭神トセル唯一ノ郷社横山神社ヲ神宮ニ昇格シテ御聖德ヲ世ニ宣揚シ以テ時局下勤王精神ノ作興ニ資セラレムコトヲ望ム

右建議ス

崇神天皇ヲ奉祀スル神宮御創建ニ關スル建議案

スル建議

恭シク惟ルニ人皇第十代崇神天皇ハ天資聰敏聖德宏大神武天皇ノ啓カセ給ヒタル不基ヲ紹述シ皇威ヲ振張アラセ給ヒシ雄圖大略ニ至リテハ眞ニ歴世稀ニ仰ギ見ル聖天子トシテ弘ク欽仰スル所ナリ殊ニ神祇ヲ崇敬シ祭祀ヲ尊重シ我ガ國政教ノ基本ヲ確立アラセラレ教化立國ノ國は定メサセ給ヒシ如キ或ハ四道將軍ヲ發遣シ四海ヲ鎮定シテ皇化ヲ八荒ニ洽カラシメラレタルガ如キ或ハ又租調ノ制ヲ確立シ財本ヲ強固ニサセ給ヒタルガ如キ更ニ又溝ヲ開鑿シテ灌漑ノ便ヲ盛ナラシ是ノ大本ヲ示サセ給ヒタルガ如キ更ニ又船舶ヲ建造シテ水上交通ノ便ヲ盛ナラシメ給ヒタルガ如キ其ノ偉業ハ眞ニ枚挙ニ違アラズ就中御治世第六十五年ノ秋遠ク任那國ヨリ蘇那曷叱知ヲ遣シテ朝貢セシメ更ニ王子都怒我阿羅斯等來朝ノ端ヲ啓カセラレタルガ如キ天皇ノ御事蹟ハ

單ニ國內的ニ限局セラレズ皇威赫々トシテ海外ニ光被シ肇國以來始メテ國際的關係ヲ有サセ給ヒシ偉業ハ萬民ノ瞻仰措ク能ハザル所ナリ由ツテ天皇ニ對シ奉リ御肇國天皇ト尊稱シ第一ノ神武天皇ト仰ギ奉ルハ宜ナリト謂ヅベシ然ルニ今日ニ至ルモ何等聖德ヲ記念シ奉ルベキモノアルナク復天皇ヲ奉祀スル殿社アルヲ聞カズ今ヤ八紘爲宇ノ皇謨ヲ奉戴シテ大東亞ノ再建ニ邁進スルノ時崇神天皇ノ御聖德ヲ偲ビ萬代不易ノ御偉業ニ感謝シ奉ルハ臣子ノ至情トシテ已ム能ハザル所ナ

リト信ズ仍テ茲ニ萬民渴仰ノ赤心ヲ披瀝シ天皇ト御因縁深キ大和國又ハ河内國ニ適當ノ地ヲ相シ天皇ヲ奉祀スル神宮ヲ御創建セラレムコトヲ望ム

右建議ス

東郷神社ヲ別格官幣社ニ昇格ニ關スル建議案

東郷神社ヲ別格官幣社ニ昇格ニ關スル建議案

東郷神社ヲ別格官幣社ニ昇格ニ關スル建議案

東郷神社ヲ別格官幣社ニ昇格ニ關スル建議案

乃木神社ヲ別格官幣社ニ昇格ニ關スル建議案

工事ヲ完了シ更ニ本年度ヨリ上流部ノ改修工事施行ノ緒ニ就ケリ然ルニ水源山地ノ状態ヲ見ルニ足尾銅山ニ於テ舊式處理法ニ依リタル時代鑛石精鍊ノ際發散セシ鑛烟ノ爲實ニ二萬七千町歩ニ瓦ル廣區域ニ烟害ヲ蒙リ特ニ被害激甚ナル三千四百町歩ノ山地ハ全ク樹木枯死シテ裸地トナリ降雨毎ニ多量ノ土砂岩屑ヲ流下シ河道ニ堆積シテ愈々水害ヲ激甚ナラシメ曩ニ築設セシ避水池ノ如キハ竣功後僅ニ七箇年ニシテ土砂五百七十萬立方米ノ堆積ヲ見ルノ實狀ニアリ此ノ儘ニシテ放置セムカ遊船ヲ建造シテ水上交通ノ便ヲ盛ナラシメ給ヒタルガ如キ其ノ偉業ハ眞ニ枚挙ニ違アラズ就中御治世第六十五年ノ秋遠ク任那國ヨリ蘇那曷叱知ヲ遣シテ朝貢セシメ更ニ王子都怒我阿羅斯等來朝ノ端ヲ啓カセラレタルガ如キ天皇ノ御事蹟ハ單ニ國內的ニ限局セラレズ皇威赫々トシテ海外ニ光被シ肇國以來始メテ國際的關係ヲ有サセ給ヒシ偉業ハ萬民ノ瞻仰措ク能ハザル所ナリ由ツテ天皇ニ對シ奉リ御肇國天皇ト尊稱シ第一ノ神武天皇ト仰ギ奉ルハ宜ナリト謂ヅベシ然ルニ今日ニ至ルモ何等聖德ヲ記念シ奉ルベキモノアルナク復天皇ヲ奉祀スル殿社アルヲ聞カズ今ヤ八紘爲宇ノ皇謨ヲ奉戴シテ大東亞ノ再建ニ邁進スルノ時崇神天皇ノ御聖德ヲ偲ビ萬代不易ノ御偉業ニ感謝シ奉ルハ臣子ノ至情トシテ已ム能ハザル所ナリト信ズ仍テ茲ニ萬民渴仰ノ赤心ヲ披瀝シ天皇ト御因縁深キ大和國又ハ河内國ニ適當ノ地ヲ相シ天皇ヲ奉祀スル神宮ヲ御創建セラレムコトヲ望ム

報告書

一治水利水政策ノ確立ニ關スル建議案(依
孫一君外八名提出)(第一號)

一地方行政振興ニ關スル建議案(宮本雄
一郎君外六名提出)(第四號)

一横山神社昇格ニ關スル建議案(熊谷五
右衛門君提出)(第七號)

一崇神天皇ヲ奉祀スル神宮御創建ニ關ス
ル建議案(田中万逸君外二名提出)(第
一〇號)

一東郷神社ヲ別格官幣社ニ昇格ニ關スル
建議案(守屋榮夫君外六名提出)(第一
二號)

一乃木神社ヲ別格官幣社ニ昇格ニ關スル
建議案(守屋榮夫君外六名提出)(第一
三號)

一渡良瀬川流域砂防工事施行ニ關スル建
議案(森下國雄君外十二名提出)(第一
四號)

右各案ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議
決致候此段及報告候也

昭和十七年一月七日

建議委員長 内藤 正剛

衆議院議長田子一民殿

敬神ノ眞義宣揚ニ關スル建議案

敬神ノ眞義宣揚ニ關スル建議

敬神ハ惟神大道ノ根基タリ中世以降外
道ノ流行猖獗ヲ極メ遂ニハ順逆ヲ誤り政
體ヲ紊ルニ至ル公道地ニ墜チ正義光ヲ蔽
ハルコト正ニ一千有餘年ニ及ベリ

記

一、皇國神祇ノ本質ヲ闡明シ敬神ノ眞義
ヲ顯彰スルノ途ヲ講スヘシ

一、敬神ニ關スル作法ヲ奠定シ之ヲ周知
實踐セシムルニ努ムヘシ

一、庶民ノ神宮奉拜ニ關スル心構ヘニ
付正シキ指導ヲ爲スヘシ

一、氏子制度ヲ明確ニシ神社祭祀ノ基本
ヲ定ムヘシ

一、神社ノ合併又ハ復興竝新社創建ニ關
シ根本方針ヲ樹立スヘシ

一、神社制度ヲ改正シ社格ノ治定ニ付テ
ハ審査ヲ慎重ニ行フヘシ

一、世上行ハルル禊、祈願、默禱ニ付再
檢討ヲ加ヘ皇國行事ノ根本思想ニ悖ラ
サラシムルヤウ嚴ニ之ヲ警シムヘシ

一、家庭祭祀ニ付明確ナル指導ヲ爲スヘ
シ

一、戦時壯丁鍊成局設置ニ關スル建議案
右建議ス

一、官幣大社宗像神社社殿境域復興ニ關
スル建議案

神勅ニ依リ創立セラレタル宗像神社ノ復
興事業ヲ完遂スルハ民心作興上ニ於テ刻
下ノ一大急務ナリト信ス仍テ速ニ國費支
辨ニ依リ同社神域ノ擴張及社殿ノ大改修
ヲ斷行シ名實共ニ天祖勅諭ノ大社タル面
目ヲ復興セラレムコトヲ望ム

右建議ス

吉野川河水統制利用ニ關スル建議案
官幣大社宗像神社社殿境域復興ニ關
スル建議案

下埋藏資源ノ開發ハ急務ニ屬ス而シテ之カ飛躍的發展ヲ期セムニハ鑛業法ヲ改正シ關係者ヲシテ欣然現下ノ重大任務ヲ擔當セシメ更ニ將來ニ於ケル鑛業界ノ根本的基礎確立方策ヲ講スヘキナリ之カ爲ニハ朝鮮臺灣檉太等ヲ統一スル鑛業法ノ劃期的改正ニ俟タサルヘカラス仍テ政府ハ之カ調査機關ヲ設ケ速ニ斯法ノ改正ニ著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

報告書

一敬神ノ眞義宣揚ニ關スル建議案（會和義式君提出）（第一七號）

一官幣大社宗像神社社殿境域復興ニ關スル建議案（原口初太郎君提出）（第一九號）

一吉野川河水統制利用ニ關スル建議案（前川正一君提出）（第二四號）

一戰時壯丁鍊成局設置ニ關スル建議案（藤生安太郎君外十一名提出）（第八號）

一治療師法制定ニ關スル建議案（小笠原夫君外三名提出）（第一五號）

一水道營團設立ニ關スル建議案（山本厚三君外二名提出）（第一六號）

一師範大學創設ニ關スル建議案（永井柳太郎君外二十九名提出）（第二三號）

一畜產局設置ニ關スル建議案（野溝勝君外五名提出）（第二號）

一種苗圃樹立ニ關スル建議案（立川平

君外三名提出）（第六號）

一農業保險制度改正ニ關スル建議案（助川啓四郎君外二十六名提出）（第九號）

一鑛業法改正ニ關スル建議案（用侯清音君外三名提出）（第一〇號）

右各案ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十七年二月十日
建議委員長 内藤 正剛

衆議院議長田子一民殿

海外引揚同胞援護ニ關スル建議案

政府ハ速ニ北米中米南米南洋等ノ各國ヨリ引揚中ノ同胞ノ生活上ノ援助ニ關シ適切ナル處置ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

海外引揚同胞援護ニ關スル建議案

政府ハ速ニ北米中米南米南洋等ノ各國ヨリ引揚中ノ同胞ノ生活上ノ援助ニ關シ適切ナル處置ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

神宮皇學館大學ヲ綜合大學トシテ擴張

張變更ニ關スル建議案

神宮皇學館大學ヲ綜合大學トシテ擴

張變更ニ關スル建議案

神宮皇學館大學ヲ綜合大學トシテ擴

張變更ニ關スル建議案

最近支那事變迄ニ於テ我カ日本人ノ思想ニ及ホシタル各種學問ノ惡影響ハ蓋シ甚

大ナルモノアリ是レ即チ英米流ノ物質觀的思想カ日本學問ノ基底ヲ侵シタルニ因ルモノニシテ其ノ結果現代社會ノ各部門ニ

於ケルアラユル實情ニ於テ寒心ニ堪エサルモノアリ幸ニシテ

御稟威ノ下大東亞建設戰ハ著々トシテ皇軍ノ手ニ依リ其ノ成果ヲ收メツツアルノ秋須ク内ニ於テハ寸時モ早ク日本の學問

ノ

ノ確立ヲ期シ非常ノ際ニ即スヘキナリ現在

神都ニハ肇國ノ理想ヲ校是トスル神宮皇學館大學ノ存スルアリテ皇道精神科學ノ權威ヲ誇ルト雖モ尙城郭ヲ出デサルノ憾アリ茲ニ於テ同大學ノ單科制ヲ綜合制ニ擴張變更シ日本科學ノ全部門ニ亘リテ之力

其ノ核心タラシメ以テ日本民族前進ノ推進力タラシムヘキナリ仍テ政府ハ速ニ神宮皇學館大學ヲ綜合的最高學府ニ擴張變

更セラレムコトヲ望ム

右建議ス

大東亞留日學生會館建設ニ關スル建議案

大東亞留日學生會館建設ニ關スル建議案

大東亞各國ヨリ日本ニ留學セル者ノ精神

指導ヲ目標トスル大東亞留日學生會館ヲ建設スルハ刻下ノ緊急ナリト認ム

右建議ス

退職國民學校教員ノ職域再奉公ニ關スル建議案

退職國民學校教員ノ職域再奉公ニ關

スル建議案

私立學校教職員優遇ニ關スル建議案

私立學校教職員優遇ニ關スル建議案

世界ノ指導國家トシテ自主的ニ世界新秩序ヲ創設セムトスル我ガ國ニ於テハ先ツ

教育ノ刷新ヲ圖リ民族素質ヲ更ニ向上セシムルノ必要アルハ謂フヲ俟タス從ツテ

全般的觀點ニ立チ教育機構ノ革新ヲ企圖

セサルヘカラサルモ就中私立學校教職員優遇ニ關スル問題ハ最モ改革ヲ要スル重

要課題ノ一タリ即チ彼等ハ教育ノ重要ナル國家的意義ニ鑑ミ有ユル惡條件ノ下ニシテ國家貢獻ノ業績真ニ偉大ナルモノアリテ其ノ間官公立學校教職員ノ功績ニ比シ著シキ不安ヲ感ゼシムルニ至レリ而シテ大東亞戰爭ノ展開スルニ從ヒ愈國民學校教育ノ重大性ヲ痛感セシムルモノアルニ拘ラズ如上ノ趨勢ハ益甚シキヲ加フベキヲ憂慮セザルヲ得ズ然ルニ一方已ニ國民學校教員ノ現職ヲ退キタル練達ノ教育家ニシテ身心共ニ健全ナルモ止ムヲ得ズ從來ノ經歷ニ緣遠キ職業ニ從事シツツアル者其ノ數決シテ尠カラズ此等ノ人々ハシテ再ビ小國民教育ノ第一線ニ立チ其ノ職域奉公ニ邁進セシムルハ刻下喫緊ノ要事ナリト信ズ而シテ此等ノ人々ハ喜ンデ後輩校長ノ下ニ就キ職域再奉公ノ用意アリト信ズ

政府ハ宜シク之ガ迅速適當ナル方途ヲ講ゼラレンコトヲ望ム

右建議ス

私立學校教職員優遇ニ關スル建議案

私立學校教職員優遇ニ關スル建議案

世界ノ指導國家トシテ自主的ニ世界新秩

序ヲ創設セムトスル我ガ國ニ於テハ先ツ

教育ノ刷新ヲ圖リ民族素質ヲ更ニ向上セ

シムルノ必要アルハ謂フヲ俟タス從ツテ

全般的觀點ニ立チ教育機構ノ革新ヲ企圖

セサルヘカラサルモ就中私立學校教職員

優遇ニ關スル問題ハ最モ改革ヲ要スル重

要課題ノ一タリ即チ彼等ハ教育ノ重要ナル國家的意義ニ鑑ミ有ユル惡條件ノ下ニシテ國家貢獻ノ業績真ニ偉大ナルモノアリ

テ其ノ間官公立學校教職員ノ功績ニ比シ著シキ不安ヲ感ゼシムルニ至レリ而シテ

私立學校教職員ハ物質的

待遇ハ固ヨリ國家ノ恩賞的待遇ニモ與リ
得ス幾十年ノ育英ニ獻身シナカラ唯泡ノ
如ク消ヘ行ク不幸ナル教職昌枚舉ニ追ア
ラススノ如キハ洵ニ教育ヲ尊重スルノ道ニ
ニ非ス教育ノ神聖尊嚴ヲ保持スルノ道ニ

非ス政府ハ速ニ可能最大ノ範圍ニ於テ私
立學校教職員ニ對シ國家的優遇ノ途ヲ講
セラレムコトヲ要望ス

右建議ス
日本農業經營機械化促進ニ關スル建議
案

日本農業經營機械化促進ニ關スル建議
案

日本農業經營機械化促進ニ關スル建議
案

日本農業經營機械化促進ニ關スル建議
案
シテノ適正規模經營農家創設ノ要請トニ
鑑ミ日本農業經營機械化ノ促進ヲ圖ル爲
日本化セル農機具ノ發明改良ヲ目的トス
ル研究機關竝之ヲ製作スル特別機關ヲ設
置セラレムコトヲ望ム

右建議ス

優秀發明ノ國家的促進ニ關スル建議案

優秀發明ノ國家的促進ニ關スル建議案
大東亞戰爭遂行ニ當リ最後ノ勝利ヲ確
保スル爲此ノ際國民ノ智能ヲ總動員シテ
優秀ナル發明ヲ國策ノ線ニ集中シ以テ大
東亞資源ノ開發、生産力ノ擴充強化ニ完
璧ヲ期スルハ急務中ノ急務ナリト信ス政
府ハ現下ノ情勢ニ鑑ミ速ニ之カ具體の方
策ヲ樹テ發明者案ノ劃期的躍進ヲ圖ラレ
ムコトヲ望ム

右建議ス

高岳親王ノ尊靈ヲ「シンガポール」ニ奉
祀ニ關スル建議案

高岳親王ノ尊靈ヲ「シンガポール」ニ
奉祀ニ關スル建議案

畏クモ「シンガポール」附近ニ於テ薨去ア
ラセラレシ高岳親王ノ尊靈ヲ其ノ聖地ニ
奉祀シ以テ大東亞建設ノ中心の靈地タラ
シメラレムコトヲ望ム

右建議ス

報告書

一海外引揚同胞援護ニ關スル建議案（田
原春次君提出）（第二三號）

一神宮皇學館大學ヲ綜合大學トシテ擴張
變更ニ關スル建議案（濱地文平君外四
名提出）（第五號）

一大東亞留日學生會館建設ニ關スル建議
案（田原春次君提出）（第一一號）

一大東亞留日學生會館建設ニ關スル建議
案（石坂繁君外二名提出）（第二
五號）

私立學校教職員優遇ニ關スル建議案
(古田喜三太君外二名提出)（第二九號）

一日本農業經營機械化促進ニ關スル建議
案（森田重次郎君外四名提出）（第二六
號）

一優秀發明ノ國家的促進ニ關スル建議案
(依孫一君外七名提出)（第二七號）

一高岳親王ノ尊靈ヲ「シンガポール」ニ奉
祀ニ關スル建議案（小池四郎君提出）
(第二八號)

右各案ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議
決致候此段及報告候也

昭和十七年二月十二日

建議委員長 内藤 正剛

衆議院議長田子一民殿

(内藤正剛君登壇)

○内藤正剛君 只今上程セラレマシタ建議
案ニ付キマシテ、委員會ノ審査ノ經過竝ニ
結果及ビ其ノ情勢ヲ極メテ簡潔ニ中間ノ御
報告ヲ申上ゲマス

今期議會ニ於キマシテハ大東亞戰爭下ノ
特異性ニ鑑ミマシテ、建議案ハ非常ニ嚴選
致サレマシタ、二月十日マデニ提出サレマ
シタ總件數ハ三十二件デアリマス、其ノ
一つノ説明ハ之ヲ省略致シマスガ、建
議案ノ全體ヲ通ジテ窺ハレマスコトハ、戰
時下日本精神ノ昂揚ヲ反映シ、神社ノ創
建、昇格、社殿ノ復興等敬神思想ノ強化ヲ
意圖スルモノガ七件ノ多キニ上ツテ居リマ
ス、河川ノ改修、治水、利水ノ政策樹立ヲ
要望サレタモノ、茲ニ教學ノ振興改善ヲ
促サレタモノガ多ク提出サレタノデアリマ
ス、審議經過ノ詳細ハ速記録ヲ御覽願フコ
トト致シマシテ、茲ニ其ノ主ナルモノニ、
三ニ付テ御説明ヲ致シマス、

治水、利水政策ノ確立ニ關スル建議案、
アリマス、其ノ趣旨ハ政府ノ各省ニ瓦ル複
雜セル行政組織ヲ綜合統一シテ、河水ノ水
源ヨリ河口ニ至リマスマダノ治水、利水、
即チ水力發電、河川ノ改修、統制、開墾、
砂防工事、植林等ノ諸事業ノ行程ヲ、時局
ニ即應致シマスル單一ナル行政機構ヲ創設
シ、天災ヲ未然ニ防止シ、農地ヲ安定セシ
メ、農民ノ生活ヲ確保シ、以テ農作物ノ增
產ヲ招來セシムルコトヲ主眼トスルモノデ
アリマシテ、之ニ對シ政府ハ河水或ハ一水
系ノ水ト云フモノヲ、綜合的ノ觀點カラ最
も能ク利用スル、而モ其ノ根本ニ於キマシ
テ治水ト云フ點カラモ、諸般ノ計畫ニ遺憾
ナキヲ期シマシテ、水ノ綜合的利用ニ付テ
ハ、近來關係各省互ヒニ連絡ヲ密ニ致シマ
シテ、隨時協議會ヲ開キ、關係官ノ打合セ
ヲ行ツテ萬全ヲ期シ、治水、利水政策ノ
確立ニ努力ヲ致シツツアル次第デ、提案
ノ御趣旨ニハ衷心共鳴ヲ致シマスルガ、
今遽カニ行政機構ノ改革ヲスルト云フ所マ
デハ考ヘテ居マセヌガ、併シ今後トモ十分
御趣旨ニ副フヤウ努力スル旨ノ答辯ガアリ
マシタ、委員會ト致シマシテハ、現在ノ行
政機構竝ニ現在政府ノ事務ノ取扱ニ於キマ
シテ、最善ヲ盡シテ居ラレルコトトハ考ヘ
テ居リマスルガ、一方又提案者ノ御指摘モ
アリマシタ通り、現在ノ機構ノ下ニ於テ生
ジマスル缺陷モ亦少カラザルモノガアルト
考ヘラレマスノデ、此ノ建議案ノ趣旨ヲ強
ク要望スル意味ニ於キマシテ、可決シタノ
デアリマス

農業保險制度改正ニ關スル建議案、アリ
マス、此ノ趣旨ハ現在ノ農業保險制度デハ、
未ダ農業災害ニ因ル損失ヲ救濟スルニ十分
デハアリマセヌ、加フルニ農業保險組合又
ハ聯合會ノ崩壊ノ危機ニ面シテ居ルモノモ

少クナイ状態デアリマス、ソコデ農業保険ヲ強制加入制度トナスト共ニ、制度ノ全般ニ亘リ整備強化ヲスルコト、冷害等ヲ農業保険事故ニ加ヘルコト、冷害等ニ因ル危険ノ分擔ノ方法ヲ擴充改正スルコト等デアリマス、國庫ニ於テモ危険ノ一部ヲ分擔スルノ趣旨ニ於テ國庫負擔額ヲ増加スルコト等保險制度ヲ擴充改正シ、農業ニ課セラレタル國家的使命ノ完遂ニ遺憾ナカラシコトヲ、強く要望セルモノデアリマス、政府當局モ十分建議ノ趣旨ヲ諒承致サレマシタノデ、委員會ニ於キマシテハ滿場一致可決シタノデアリマス

更ニ高岳親王ノ尊靈ヲ「シンガボール」ニ奉祀ニ關スル建議案ガアリマシタ、千百年ノ昔、畏多クモ金枝玉葉ノ御身ヲ以テ佛道ノ奥義ヲ求メラレ、御渡印ノ途次、異境ニ瘡瘍ニ冒サレ給ヒ、「シンガボール」附近ニ於テ薨去アラセラレマシタ高岳親王ノ尊靈ヲ奉祀シ、南方同胞讚仰ノ聖地タラシメンコトヲ希望セラレタモノデアリマス、現在砲煙下ニ激戦ノ地デアリマスカラ、軍當局ヨリ關係各省トモ連絡ノ上善處スル旨ノ御答ヘガアリマシタ、委員會ニ於キマシテハ、全員異議ナク可決致シマシタ

又優秀發明ノ國家的促進ニ關スル建議案ガアリマシタ、今次大東亞共榮圈確立ヲ目標ト致シマスル聖戰ニ於キマシテ、武力戦ニ勝利ヲ得ルコトハ勿論、次ニ來ルベキ建設戦ニ於テモ、我ガ國ノ科學技術ヲ最高度ニ發揮シ、發明工夫ニ依ツテ資源ノ開發ニ

少クナイ状態デアリマス、ソコデ農業保険ヲ強制加入制度トナスト共ニ、制度ノ全般ニ亘リ整備強化ヲスルコト、冷害等ヲ農業保険事故ニ加ヘルコト、冷害等ニ因ル危険ノ分擔ノ方法ヲ擴充改正スルコト等デアリマス、國庫ニ於テモ危険ノ一部ヲ分擔スルノ趣旨ニ於テ國庫負擔額ヲ増加スルコト等保險制度ヲ擴充改正シ、農業ニ課セラレタル國家的使命ノ完遂ニ遺憾ナカラシコトヲ、強く要望セルモノデアリマス、政府當局モ十分建議ノ趣旨ヲ諒承致サレマシタノデ、委員會ニ於キマシテハ滿場一致可決シタノデアリマス

更ニ高岳親王ノ尊靈ヲ「シンガボール」ニ奉祀ニ關スル建議案ガアリマシタ、千百年ノ昔、畏多クモ金枝玉葉ノ御身ヲ以テ佛道ノ奥義ヲ求メラレ、御渡印ノ途次、異境ニ瘡瘍ニ冒サレ給ヒ、「シンガボール」附近ニ於テ薨去アラセラレマシタ高岳親王ノ尊靈ヲ奉祀シ、南方同胞讚仰ノ聖地タラシメンコトヲ希望セラレタモノデアリマス、現在砲煙下ニ激戦ノ地デアリマスカラ、軍當局ヨリ關係各省トモ連絡ノ上善處スル旨ノ御答ヘガアリマシタ、委員會ニ於キマシテハ、全員異議ナク可決致シマシタ

又優秀發明ノ國家的促進ニ關スル建議案ガアリマシタ、今次大東亞共榮圈確立ヲ目標ト致シマスル聖戰ニ於キマシテ、武力戦ニ勝利ヲ得ルコトハ勿論、次ニ來ルベキ建設戦ニ於テモ、我ガ國ノ科學技術ヲ最高度ニ發揮シ、發明工夫ニ依ツテ資源ノ開發ニ

邁進致シマスルコトハ焦眉ノ問題デアリマスニ拘ラズ、從來政府ノ發明獎勵ノ施設ハ、淘ニ微々タルモノガアルノデアリマス、時局對應ノ積極的方策ニ乏シク遺憾デアリマスノデ、其ノ劃期的飛躍ヲ遂ゲル爲ベキコトヲ要望セラレタモノデアリマス、本案ニ付キマシテハ政府ヨリ特ニ技術院總裁ガ出席サレマシテ、懇篤ナル答

スルト云フ方針ヲ明カニサレタノデアリマス(拍手)殊ニ又祕密ニスペキコトデハナイ

ト云フノデ、今後ハ特許局ハ技術院ノ方ニ

入ルトマテ仰セニツタノデアリマス

以上審議ノ結果、今日ノ日程ニ上リマシ

タ二十七件ハ原案通り可決致シマシテ、他

ニ二件ノ採決ヲ留保致シマシタ、尙ホ各派

共同提案ニ依リマスル三件ハ、諸君御承知

ノ通リ、特ニ委員會ニ於ケル審議ヲ省略致

シマシテ、本會議ニ詳細ノ審議ヲ移シマシ

テ、即決ヲ願ツタ次第デアリマス、其ノコ

トハ委員會モ無論承認シタ譯デアリマス、

要スルニ付託セラレマシタ建議案ノ審査

ハ、先づ各省別ニ分ケマシテ、全部總會ニ掛ケマシテ、一案毎ニソレバ提案者ノ説

明ヲ求メ、政府當局ノ十分ナ意見ヲ徵シマ

シテ、委員ヨリハ其ノ内容ニ付テ検討ヲ加

ス、仍テ各建議案ハ何レモ委員長ノ報告通

リ可決致シマシタ(拍手)是ニテ議事日程ハ

議了致シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ

上程ノモノハ二月十日マデニ提出セラレタ

ル建議案ノ可決致サレマシタモノノ全部デ

アリマス

此ノ際私ハ皆様ニ御参考マデニ、委員會

ノ委員ノ一致致シマシタ意見ヲ申述ベタイ

ト思ヒマス、從來建議案ハ議院法ニ規定サ

ニ、民間團體ヲ十分ニ利用致シマシテ、

此ノ際國民ノ發明工夫ヲ指導昂揚セシム

ベキコトヲ要望セラレタモノデアリマス

ス、本案ニ付キマシテハ政府ヨリ特ニ技

術院總裁ガ出席サレマシテ、懇篤ナル答

辯ガアツテ、結局大東亞建設ノ歴史的偉業

達成ノ爲メ、政府ニ於テモ斯道獎勵ニ盡瘁

スルト云フ方針ヲ明カニサレタノデアリマ

ス(拍手)殊ニ又祕密ニスペキコトデハナイ

ト云フノデ、今後ハ特許局ハ技術院ノ方ニ

入ルトマテ仰セニツタノデアリマス

以上審議ノ結果、今日ノ日程ニ上リマシ

タ二十七件ハ原案通り可決致シマシテ、他

ニ二件ノ採決ヲ留保致シマシタ、尙ホ各派

共同提案ニ依リマスル三件ハ、諸君御承知

ノ通リ、特ニ委員會ニ於ケル審議ヲ省略致

シマシテ、本會議ニ詳細ノ審議ヲ移シマシ

テ、即決ヲ願ツタ次第デアリマス、其ノコ

トハ委員會モ無論承認シタ譯デアリマス、

要スルニ付託セラレマシタ建議案ノ審査

ハ、先づ各省別ニ分ケマシテ、全部總會ニ

掛ケマシテ、一案毎ニソレバ提案者ノ説

明ヲ求メ、政府當局ノ十分ナ意見ヲ徵シマ

シテ、委員ヨリハ其ノ内容ニ付テ検討ヲ加

ス、仍テ各建議案ハ何レモ委員長ノ報告通

リ可決致シマシタ(拍手)是ニテ議事日程ハ

議了致シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ

上程ノモノハ二月十日マデニ提出セラレタ

ル建議案ノ可決致サレマシタモノノ全部デ

アリマス

此ノ際私ハ皆様ニ御参考マデニ、委員會

ノ委員ノ一致致シマシタ意見ヲ申述ベタイ

ト思ヒマス、從來建議案ハ議院法ニ規定サ

ニ、民間團體ヲ十分ニ利用致シマシテ、

此ノ際國民ノ發明工夫ヲ指導昂揚セシム

ベキコトヲ要望セラレタモノデアリマス

ス、本案ニ付キマシテハ政府ヨリ特ニ技

術院總裁ガ出席サレマシテ、懇篤ナル答

辯ガアツテ、結局大東亞建設ノ歴史的偉業

達成ノ爲メ、政府ニ於テモ斯道獎勵ニ盡瘁

スルト云フ方針ヲ明カニサレタノデアリマ

ス(拍手)殊ニ又祕密ニスペキコトデハナイ

ト云フノデ、今後ハ特許局ハ技術院ノ方ニ

入ルトマテ仰セニツタノデアリマス

以上審議ノ結果、今日ノ日程ニ上リマシ

タ二十七件ハ原案通り可決致シマシテ、他

ニ二件ノ採決ヲ留保致シマシタ、尙ホ各派

共同提案ニ依リマスル三件ハ、諸君御承知

ノ通リ、特ニ委員會ニ於ケル審議ヲ省略致

シマシテ、本會議ニ詳細ノ審議ヲ移シマシ

テ、即決ヲ願ツタ次第デアリマス、其ノコ

トハ委員會モ無論承認シタ譯デアリマス、

要スルニ付託セラレマシタ建議案ノ審査

ハ、先づ各省別ニ分ケマシテ、全部總會ニ

掛ケマシテ、一案毎ニソレバ提案者ノ説

明ヲ求メ、政府當局ノ十分ナ意見ヲ徵シマ

シテ、委員ヨリハ其ノ内容ニ付テ検討ヲ加

ス、仍テ各建議案ハ何レモ委員長ノ報告通

リ可決致シマシタ(拍手)是ニテ議事日程ハ

議了致シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ

上程ノモノハ二月十日マデニ提出セラレタ

ル建議案ノ可決致サレマシタモノノ全部デ

アリマス

此ノ際私ハ皆様ニ御参考マデニ、委員會

ノ委員ノ一致致シマシタ意見ヲ申述ベタイ

ト思ヒマス、從來建議案ハ議院法ニ規定サ

ニ、民間團體ヲ十分ニ利用致シマシテ、

此ノ際國民ノ發明工夫ヲ指導昂揚セシム

ベキコトヲ要望セラレタモノデアリマス

ス、本案ニ付キマシテハ政府ヨリ特ニ技

術院總裁ガ出席サレマシテ、懇篤ナル答

辯ガアツテ、結局大東亞建設ノ歴史的偉業

達成ノ爲メ、政府ニ於テモ斯道獎勵ニ盡瘁

スルト云フ方針ヲ明カニサレタノデアリマ

ス(拍手)殊ニ又祕密ニスペキコトデハナイ

ト云フノデ、今後ハ特許局ハ技術院ノ方ニ

入ルトマテ仰セニツタノデアリマス

以上審議ノ結果、今日ノ日程ニ上リマシ

タ二十七件ハ原案通り可決致シマシテ、他

ニ二件ノ採決ヲ留保致シマシタ、尙ホ各派

共同提案ニ依リマスル三件ハ、諸君御承知

ノ通リ、特ニ委員會ニ於ケル審議ヲ省略致

シマシテ、本會議ニ詳細ノ審議ヲ移シマシ

テ、即決ヲ願ツタ次第デアリマス、其ノコ

トハ委員會モ無論承認シタ譯デアリマス、

要スルニ付託セラレマシタ建議案ノ審査

ハ、先づ各省別ニ分ケマシテ、全部總會ニ

掛ケマシテ、一案毎ニソレバ提案者ノ説

明ヲ求メ、政府當局ノ十分ナ意見ヲ徵シマ

シテ、委員ヨリハ其ノ内容ニ付テ検討ヲ加

ス、仍テ各建議案ハ何レモ委員長ノ報告通

リ可決致シマシタ(拍手)是ニテ議事日程ハ

議了致シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ

上程ノモノハ二月十日マデニ提出セラレタ

ル建議案ノ可決致サレマシタモノノ全部デ

アリマス

此ノ際私ハ皆様ニ御参考マデニ、委員會

ノ委員ノ一致致シマシタ意見ヲ申述ベタイ

ト思ヒマス、從來建議案ハ議院法ニ規定サ

ニ、民間團體ヲ十分ニ利用致シマシテ、

此ノ際國民ノ發明工夫ヲ指導昂揚セシム

ベキコトヲ要望セラレタモノデアリマス

ス、本案ニ付キマシテハ政府ヨリ特ニ技

術院總裁ガ出席サレマシテ、懇篤ナル答

辯ガアツテ、結局大東亞建設ノ歴史的偉業

達成ノ爲メ、政府ニ於テモ斯道獎勵ニ盡瘁

スルト云フ方針ヲ明カニサレタノデアリマ

ス(拍手)殊ニ又祕密ニスペキコトデハナイ

ト云フノデ、今後ハ特許局ハ技術院ノ方ニ

入ルトマテ仰セニツタノデアリマス

以上審議ノ結果、今日ノ日程ニ上リマシ

タ二十七件ハ原案通り可決致シマシテ、他

ニ二件ノ採決ヲ留保致シマシタ、尙ホ各派

共同提案ニ依リマスル三件ハ、諸君御承知

ノ通リ、特ニ委員會ニ於ケル審議ヲ省略致

シマシテ、本會議ニ詳細ノ審議ヲ移シマシ

テ、即決ヲ願ツタ次第デアリマス、其ノコ

トハ委員會モ無論承認シタ譯デアリマス、

要スルニ付託セラレマシタ建議案ノ審査

ハ、先づ各省別ニ分ケマシテ、全部總會ニ

掛ケマシテ、一案毎ニソレバ提案者ノ説

明ヲ求メ、政府當局ノ十分ナ意見ヲ徵シマ

シテ、委員ヨリハ其ノ内容ニ付テ検討ヲ加

ス、仍テ各建議案ハ何レモ委員長ノ報告通

リ可決致シマシタ(拍手)是ニテ議事日程ハ

議了致シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ

上程ノモノハ二月十日マデニ提出セラレタ

ル建議案ノ可決致サレマシタモノノ全部デ

アリマス

此ノ際私ハ皆様ニ御参考マデニ、委員會

ノ委員ノ一致致シマシタ意見ヲ申述ベタイ

ト思ヒマス、從來建議案ハ議院法ニ規定サ

ニ、民間團體ヲ十分ニ利用致シマシテ、

此ノ際國民ノ發明工夫ヲ指導昂揚セシム

ベキコトヲ要望セラレタモノデアリマス

ス、本案ニ付キマシテハ政府ヨリ特ニ技

術院總裁ガ出席サレマシテ、懇篤ナル答

辯ガアツテ、結局大東亞建設ノ歴史的偉業

達成ノ爲メ、政府ニ於テモ斯道獎勵ニ盡瘁

スルト云フ方針ヲ明カニサレタノデアリマ

ス(拍手)殊ニ又祕密ニスペキコトデハナイ

ト云フノデ、今後ハ特許局ハ技術院ノ方ニ

入ルトマテ仰セニツタノデアリマス

以上審議ノ結果、今日ノ日程ニ上リマシ

タ二十七件ハ原案通り可決致シマシテ、他

ニ二件ノ採決ヲ留保致シマシタ、尙ホ各派

共同提案ニ依リマスル三件ハ、諸君御承知

ノ通リ、特ニ委員會ニ於ケル審議ヲ省略致

シマシテ、本會議ニ詳細ノ審議ヲ移シマシ

テ、即決ヲ願ツタ次第デアリマス、其ノコ

トハ委員會モ無論承認シタ譯デアリマス、

要スルニ付託セラレマシタ建議案ノ審査

ハ、先づ各省別ニ分ケマシテ、全部總會ニ

掛ケマシテ、一案毎ニソレバ提案者ノ説

明ヲ求メ、政府當局ノ十分ナ意見ヲ徵シマ

シテ、委員ヨリハ其ノ内容ニ付テ検討ヲ加

ス、仍テ各建議案ハ何レモ委員長ノ報告通

リ可決致シマシタ(拍手)是ニテ議事日程ハ

議了致シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ

上程ノモノハ二月十日マデニ提出セラレタ

ル建議案ノ可決致サレマシタモノノ全部デ

アリマス

此ノ際私ハ皆様ニ御参考マデニ、委員會

ノ委員ノ一致致シマシタ意見ヲ申述ベタイ

